

復興推進会議（第37回）・原子力災害対策本部会議（第59回）・福島国際研究教育機構に関する関係閣僚会議（第1回）合同会合 議事録案

1 日 時：令和5年3月22日（水） 8:20～8:33

2 場 所：官邸2階 大ホール

3 出席者：

【議長】松野博一内閣官房長官（内閣総理大臣臨時代理）

【副議長】渡辺博道復興大臣＜進行＞

【議員等】高市早苗国務大臣、山田賢司外務副大臣（林芳正外務大臣代理）、井上貴博財務副大臣（鈴木俊一財務大臣代理）、斉藤鉄夫国土交通大臣、河野太郎デジタル大臣、小野田紀美防衛大臣政務官（浜田靖一防衛大臣代理）、伊佐進一厚生労働副大臣（加藤勝信厚生労働大臣代理）、松野博一内閣官房長官、松本剛明総務大臣、西村康稔経済産業大臣、後藤茂之国務大臣、野村哲郎農林水産大臣、谷公一国務大臣、井出庸生文部科学副大臣（永岡桂子文部科学大臣代理）、岡田直樹国務大臣、西村明宏環境大臣、門山宏哲法務副大臣（齋藤健法務大臣代理）、自見はなこ内閣府大臣政務官（小倉将信国務大臣代理）、磯崎仁彦内閣官房副長官、小島敏文復興副大臣、竹谷とし子復興副大臣、太田房江経済産業副大臣、小林茂樹環境副大臣、中野英幸復興大臣政務官、里見隆治復興大臣政務官、栗生俊一内閣官房副長官、近藤正春内閣法制局長官、山中伸介原子力規制委員長、村田隆内閣危機管理監

4 配布資料

資料 1 原子力災害からの復興の現状

資料 2 原子力災害からの福島復興の進捗について

資料 3 浪江町・富岡町における避難指示区域の解除について（案）

資料 4 福島国際研究教育機構（F-REI）の設立準備状況について

参考資料 1 復興推進会議構成員

参考資料 2 原子力災害対策本部構成員

参考資料 3 福島国際研究教育機構に関する関係閣僚会議の開催について

参考資料 4 復興推進会議（第36回）議事録案

5 議 事

（1）原子力災害からの復興の現状について

（2）浪江町・富岡町における避難指示区域の解除について

（3）福島国際研究教育機構（F-REI）の設立準備状況について

○渡辺復興大臣 ただいまから、第37回「復興推進会議」、第59回「原子力災害対策本部会議」及び第1回「福島国際研究教育機構に関する関係閣僚会議」の合同会議を開催いたします。

お手元の議事次第のとおり、本日の会議では、3つの議題がございます。

それでは、議題第1「原子力災害からの復興の現状について」、お手元の資料1を御覧ください。時間の都合上、説明は省略させていただきます。

続いて、西村経済産業大臣から御報告をいただきます。

○西村経済産業大臣 資料2「原子力災害からの福島復興の進捗について」であります、御覧いただけるとおりでありますので、説明は省略させていただきます。よろしくお願いたします。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

続いて、議題2に入ります。

原子力災害対策本部として、西村経済産業大臣より説明をお願いいたします。

○西村経済産業大臣 資料3を御覧ください。

浪江町の特定復興再生拠点区域の避難指示を令和5年3月31日午前10時に、富岡町の特定復興再生拠点区域の避難指示を同年令和5年4月1日午前9時に解除することについて、御審議をお願いいたします。

今回の避難指示解除の対象区域については、除染等の進捗により十分な放射線量の低下が見られ、インフラ等がおおむね復旧しております。こうした中で、住民や地元議会への説明を実施した上で、浪江町・富岡町の特定復興再生拠点区域の避難指示を解除することについて、町、県とそれぞれ合意をいたしました。

以上を踏まえ、資料3「浪江町・富岡町における避難指示区域の解除について」、原子力災害対策本部として決定することをお諮りいたします。よろしくお願いたします。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

本案について、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と声あり)

○渡辺復興大臣 それでは、本案について、原子力災害対策本部として決定いたします。

続いて、議題3「F-REIの設立準備状況について」です。

資料4を御覧ください。

1ページは、F-REIの概要です。

次の2ページは、F-REI設立後の当面のスケジュールです。

3ページです。F-REIは、理事長の下、総勢約60名の体制で発足を目指しています。

4ページは、立地予定地の概況です。浪江町にF-REI本部を設置し、4月から活動を開始します。

5ページは、F-REIの本施設の整備イメージを示したものです。今後令和5年度中に施設基本計画を取りまとめ、早期施設整備に向けて、都市計画手続や用地取得等に迅速に取り

組んでまいります。

6 ページは、主務大臣が策定し、F-REIに指示することとなる中期目標の骨子です。令和5年度から令和11年度の第一期中期目標期間においては「基盤作りと存在感の提示」に重点を置くものとしております。

続けて7 ページは、F-REIが実施する研究開発5分野の目標を掲げております。

8 ページを御覧ください。F-REIは、広域連携や他の研究機関との調整など司令塔機能を発揮するため、法律に基づき、協議会を組織するものとされています。本協議会の早期設立に向け、準備を進めてまいります。

最後に、9 ページを御覧ください。4月1日に開所式を、4月15日に設立記念シンポジウムを開催する予定です。

私からの説明は以上です。

続いて、各大臣から御発言をお願いいたします。順番に指名させていただきます。

まず、斉藤国土交通大臣。

○斉藤国土交通大臣 国土交通省といたしましては、インフラの復旧・整備等を通じ、住民の帰還、被災地の復興がより一層図られるよう、引き続き関係省庁と連携の上、全力を挙げて取り組んでまいります。

以上です。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

続いて、松本総務大臣。

○松本総務大臣 総務省といたしましては、震災復興特別交付税による支援を継続するとともに、特に避難指示の解除地域等における復旧・復興を進めるための人材確保に向けて、自治体を個別に訪問して中長期派遣の依頼を行うなど、取組を強化しているところです。

今後とも被災団体の実情を丁寧に向いながら、被災団体が復旧・復興事業を着実に実施できるよう万全を期してまいります。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

続いて、井出文部科学副大臣。

○井出文部科学副大臣 この4月に設立される福島国際研究教育機構は「創造的復興の中核拠点」となるものと期待されています。同機構に当省所管法人の施設の一部を移管し、関係機関との連携の下、同機構に職員を出向させることとしています。同機構が実施する放射線科学・創薬医療分野、環境動態分野の研究開発等についてしっかりと取り組めるように尽力をしております。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

続いて、伊佐厚生労働副大臣。

○伊佐厚生労働副大臣 厚生労働省としては、原子力災害からの復興に向けて、引き続き被災された方に寄り添いながら、心のケア、医療・介護提供体制の整備、きめ細やかな就職支援等にしっかり取り組んでまいります。

また、F-REIにおいて予定されている革新的な治療法の研究開発等の取組が、東北、そして日本全体の成長に資するよう、引き続き復興庁や関係省庁と連携し、尽力してまいります。

以上です。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

続いて、野村農林水産大臣。

○野村農林水産大臣 農林水産省としては、今回避難指示が解除される浪江町・富岡町の特定復興再生拠点区域において、営農再開が円滑に進むよう支援してまいります。

また、福島国際研究教育機構においては、東北の「創造的復興」に資するよう、現場の意見をしっかり踏まえながら、復興庁はじめ関係機関と連携して、被災地域の営農再開をはじめ、スマート農業等を通じて超省力・高付加価値で持続性の高い新たな生産システムの実証研究等に取り組んでまいります。

以上です。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

続いて、西村環境大臣。

○西村環境大臣 浪江町及び富岡町の復興拠点では、避難指示解除に向け、除染が着実に進展し、専門家の検証も行われました。今後も必要に応じてフォローアップ除染を行うほか、飯舘村についても今年春頃の解除に向けて着実に取り組んでまいります。

また、福島国際研究教育機構における放射性物質の環境中の挙動解明に関する研究を通じた環境回復や、地域の水素ネットワークの構築を通じた脱炭素と災害に強いまちづくりに貢献してまいります。

以上です。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

続いて、西村経済産業大臣。

○西村経済産業大臣 経済産業省は、研究開発テーマとして、ロボットやエネルギー、放射線の産業利用などを提案しており、令和5年度からの本格的な実施に向けた準備を進めております。

F-REIが福島イノベーション・コースト構想の具現化を進めるための中核的存在となり、「創造的復興」に資するよう、産業技術総合研究所などの関係機関や関係省庁と連携して、積極的に参画してまいります。

以上です。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

続いて、高市国務大臣。

○高市国務大臣 内閣府では、第6期科学技術・イノベーション基本計画等に基づく我が国の科学技術政策を推進する観点から、F-REIの中期目標案に対して岸田総理議長のCSTI本会議で審議を行いましたほか、第2期健康・医療戦略に基づく医療分野の研究開発を推

進する観点からも取り組んできたところでございます。

今後被災地の復興に貢献できるよう、関係機関との連携を強めてまいります。

以上です。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

松野官房長官から一言お願いいたします。

○松野内閣官房長官 F-REIは、福島をはじめ被災地の夢や希望となるものであり、我が国の経済成長や国民生活の向上にも貢献することを目指す政府の最重要施策の一つです。

F-REIが7年間の第一期中期目標期間に「基盤作りと存在感の提示」に重点を置き、研究開発や人材育成などで早期に成果が得られるよう、関係閣僚会議の議長として政府内で調整を図り、F-REIの取組を支えてまいります。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

発言はここまでとさせていただきます。

ここでプレスを入れます。

(報道関係者入室)

○渡辺復興大臣 それでは、松野官房長官からお願いいたします。

○松野内閣官房長官 東日本大震災から12年が経過し、被災地の方々の絶え間ない御努力により、復興は着実に進展していますが、その一方で、原子力災害からの復興・再生には今後も中長期的な対応が必要です。

中でも、残された帰還困難区域における避難指示の解除は重要な課題です。昨年の3町村に続き、本日、浪江町・富岡町の拠点区域の避難指示解除を決定しました。関係閣僚におかれては、解除された地域における生活環境の整備、そして、残る飯館村の拠点区域の解除に向けても、引き続き全力を尽くしてください。

また、拠点区域外についても、ふるさとに戻りたいと考える住民の方々が早期に戻れるよう、福島復興再生特別措置法の改正を含む避難指示解除に向けた取組を着実に進めてください。

そして、いよいよ福島国際研究教育機構、いわゆるF-REIが来月1日に発足します。まずは「基盤作りと存在感の提示」に重点を置きつつ、第一期目標期間の姿として、数百名規模の国内外の優秀な研究者が集う、期間中の事業規模1000億円の世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」の実現に向け、関係閣僚会議等を通じて政府を挙げて支えてまいります。

岸田総理も、事情が許せば4月1日のF-REI開所式に出席するとともに、避難指示が解除された地域を訪問する機会をつくる考えです。

「東北の復興なくして日本の再生なし」、引き続きこの強い決意の下、閣僚全員が復興大臣であるという意識で被災地の復興に取り組んでください。

以上です。

○渡辺復興大臣 ありがとうございます。

報道関係者はここで御退場をお願いいたします。

(報道関係者退室)

○渡辺復興大臣 それでは、本日はここまでとさせていただきます。どうもありがとうございました。

(以上)